

# 平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月5日 (月)

会場 日立第一高等学校体育館

【男子の部】 第4日目 Cコート 第2試合

チームA 県立能代工業 秋田	104	{ 32 1Q 12 25 2Q 14 22 3Q 12 25 4Q 18 OT	56	チームB 北海道大麻 北海道
----------------------	-----	---	----	----------------------

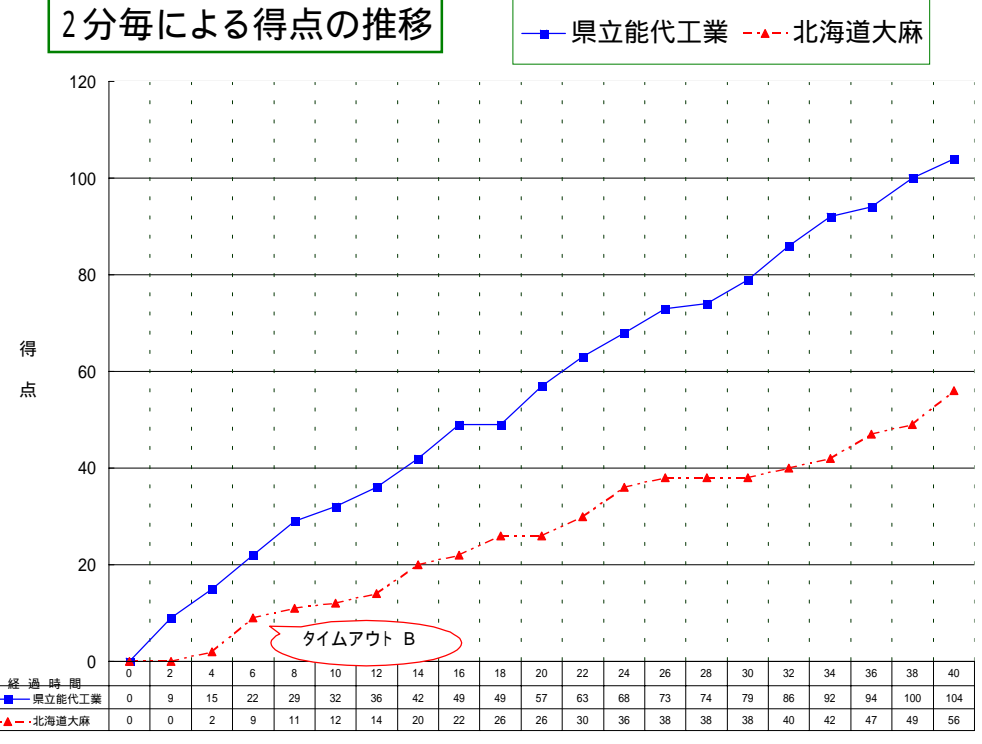
県立能代工業

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	黒政 成広	0	0	2	0	2	0	0	2	1	1	1	2	3	0	33
5	高久 順	33	0	1	15	18	3	6	3	3	8	4	1	1	3	33
6	吉田 政徳	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	5
7	内海 慎吾	22	2	7	7	12	2	2	4	2	6	1	1	1	1	31
8	富田 敏幸	19	3	3	5	11	0	1	2	0	5	0	0	6	1	31
9	高橋 優	13	3	8	2	4	0	0	0	1	2	1	2	4	0	31
10	梅津 敬介	4	0	0	2	3	0	0	0	1	1	0	0	1	1	5
11	土崎 貴宏	2	0	0	1	1	0	0	2	1	3	0	0	1	0	8
12	柴田 博満	3	0	0	1	2	1	2	1	0	1	0	1	0	0	6
13	宮城 徹	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5
14	梁川 禎浩	2	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
15	二田 洋志	4	0	0	1	5	2	2	2	1	3	2	0	0	0	7
コーチ	加藤 三彦								0							
		104	8	23	36	61	8	13	17	11	30	11	7	17	6	200
		確率	34.8%		59.0%		61.5%		計	41						

北海道大麻

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	山田 寛	2	0	0	1	4	0	0	5	1	1	0	2	0	0	17
5	中川 明	17	1	5	6	9	2	3	1	1	0	2	4	5	2	32
6	細川 豪	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	8
7	宮川 拓也	7	1	4	2	10	0	0	0	1	1	4	1	1	0	34
8	大櫛 馨平	4	0	1	1	3	2	2	0	3	0	1	0	0	0	10
9	三鍋 健太	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	4	0	13
10	向 淳希	2	0	0	1	8	0	0	0	0	0	2	0	2	1	23
11	風間 俊亮	13	0	0	6	14	1	2	4	4	7	2	2	1	2	39
12	伊藤 堯紀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6
13	斎藤 隼平															DNP
14	坂上 慶	5	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
15	鈴木 豊	6	0	0	1	3	4	6	3	1	0	0	1	0	0	13
コーチ	長野 雅男								0							
		56	3	14	19	54	9	13	16	11	10	11	11	13	5	200
		確率	21.4%		35.2%		69.2%		計	21						

2分毎による得点の推移



## 戦評

ここまで危なげなく勝ち進んできた能代工と、持ち前の粘りで接戦をものにしてきた大麻の対戦は、能代工プレスからの1-3-1ゾーン、大麻マンツーマンでスタート。能代工はセンター#5高久のリング下や#9高橋の3Pシュートなどで主導権を握る。大麻は能代工の激しいディフェンスに戸惑い、思うようなプレーができない。#11風間のシュートなどで反撃を試みるが防戦一方となり32対12能代工リードで第1P終了。

第2P、能代工は#5高久のポストプレーで立て続けに得点し、差を広げていく。能代工のスピードに徐々に慣れ始めた大麻は、#5中川を中心とした速いパス回しから#7宮川、#8大櫛のシュートで追いあげを図るが、能代工の落ち着いたプレーの前に、点差を縮められず、57対26能代工31点リードで前半終了。

第3P、大麻は懸命のディフェンスで能代工の攻撃をしのぐが、肝心のシュートがなかなか決まらない。

第4P、能代工#5高久がこの日33点目のシュートを決めたところで勝負あり。最後は1年生中心となった能代工が、大麻の反撃を押さえ104対56で快勝し、ベスト4進出を決めた。

主審 久保裕紀

副審 吉岡康元

記入者 鹿島正浩